

06

社会人入学者特別選抜 編入学者選抜

検定料 各35,000円

募集人員

リベラルアーツ学群	グローバル・コミュニケーション学群	ビジネスマネジメント学群 フラインク・オペレーションコース除く	健康福祉学群	芸術文化学群
-----------	-------------------	------------------------------------	--------	--------

若干名

出願条件

選抜方式	出願条件	試験科目
社会人入学者特別選抜	<p>大学入学資格を有する社会人であること。</p> <p>社会人とは、2019年4月1日現在で23歳に達しており、社会人(主婦等を含む)経験が3年以上ある者(2019年4月入学時に3年目を終える者を含む)。大学受験のために試験勉強をしていた者は社会人とみなさない。</p> <p>日本国籍または日本の「定住者」「永住者」の在留資格を有する者が対象。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●書類審査、読書レポート等 ●課題図書を読んでいる学群は内容理解度を含む面接 <p>※芸文学群の審査方法はP.02を確認してください。 ※GC学群の面接方法はP.03を確認してください。</p>
編入学者選抜	<p>一般・留学生</p> <p>①大学を卒業した者または大学に2年以上在籍した者、または2019年3月に2年次修了見込みの者。 ②短期大学または高等専門学校卒業生、または2019年3月卒業見込みの者。 ③専修学校の専門課程のうち、文部科学大臣が定める基準を満たすものを修了した者。または2019年3月修了見込みの者。</p> <p>※学群が指定する下記の資格等を有していることも出願条件です。</p>	<p>一般・留学生・社会人</p> <ul style="list-style-type: none"> ●研究目標レポートを含む書類審査 ●小論文(60分) ●面接 <p>※芸文学群の審査方法はP.02を確認してください。 ※GC学群の面接方法はP.03を確認してください。</p>
	<p>社会人</p> <p>上記①～③のいずれかに該当し、かつ社会人経験が3年以上の者(2019年4月入学時に3年目を終える者を含む)。</p>	<p>沖縄地区</p> <ul style="list-style-type: none"> ●研究目標レポート、読書レポートを含む書類審査 ●課題図書の内容理解度を含む面接 <p>※芸文学群の審査方法はP.02を確認してください。 ※GC学群の面接方法はP.03を確認してください。</p>
	<p>沖縄地区</p> <p>上記①～③のいずれかに該当し、大学等が沖縄県内にあること。 ※学群が指定する下記の資格等を有していることも出願条件です。</p>	
	リベラルアーツ学群	<p>実用英語技能検定準2級、TOEFL iBT® 34点、TOEIC® L&R 420点、IELTS™ 3.5</p> <p>※TOEFL®、TOEIC®は公式スコアのみ有効。(ITP、IPスコアは不可) ※編入学者選抜の社会人の場合、指定資格はありません。</p>
	ビジネスマネジメント学群	指定なし(提出不要)
	健康福祉学群	指定なし(提出不要)
芸術文化学群	指定なし(提出不要)	
グローバル・コミュニケーション学群	<p>英語特別専修:TOEFL iBT® 61点、TOEIC® L&R 600点、IELTS™ 5.5 / 中国語特別専修:HSK4級 / 日本語特別専修:日本語能力試験N2</p>	

日程	社会人入学者特別選抜	編入学者選抜	
		一般・留学生・社会人	沖縄地区
出願登録 (インターネット出願)	10/15(月)～10/22(月) 最終日は正午(12時)まで	10/15(月)～10/22(月) 最終日は正午(12時)まで	9/21(金)～9/28(金) 最終日は正午(12時)まで
検定料支払	10/22(月)	10/22(月)	9/28(金)
	出願書類の提出に必要な「郵送ラベル」は検定料の支払い後から印刷が可能となります。出願登録後、お早めに検定料をお支払いください。		
出願書類提出期限	10/22(月) 消印有効	10/22(月) 消印有効	9/28(金) 消印有効
デジタル受験票 発行開始日	11/9(金) 15時から順次発行	11/9(金) 15時から順次発行	10/24(水) 15時から順次発行
試験日	11/17(土)	11/17(土)	那覇 10/28(日)
合格発表日	11/26(月)	11/26(月)	11/2(金)
入学手続締切日	12/5(水)一括納入	12/5(水)一括納入	11/9(金)一括納入



芸術文化学群の審査方法について

AO入学者選抜(第1回、第2回)、公募制推薦入学者選抜はインターネット出願時に「実技型」・「作品審査型」または、「小論文型」のいずれかを選択してください。

選抜方式	専修	審査方式	芸文のみの主な出願書類	審査内容
AO (第1回、第2回) 公募	演劇・ダンス	実技型	「活動報告書(芸文版)」*1	演劇 [実技と面接] グループ構成で課題に沿った集団創作と発表。オーディション形式のグループ面接審査。動きやすい服装とシューズを持参すること。実技と面接、待ち時間をあわせ4時間ほどになる場合もあります。
		ダンス		ダンス [実技と面接] 短い振り付けによる技術力審査。オーディション形式のグループ面接審査。着替え持参、シューズ不要。実技と面接、待ち時間をあわせ4時間ほどになる場合もあります。
	小論文型	「活動報告書(芸文版)」*1 「小論文」*2	事前提出した小論文をもとに面接審査(15分)	
	音楽	実技型	「活動報告書(芸文版)」*1	声楽、ミュージカル(歌)、ピアノ、管楽器、打楽器、弦楽器(撥弦楽器を含む)、パイプオルガンのいずれかを選び任意の一曲を演奏する。さらに面接を課す。大学側で用意する楽器はピアノ、コントラバス、ハープ、マリンバ、パイプオルガン。ほかの楽器は持参すること。 伴奏者の同伴、または伴奏としてのCD 持ち込み可。 また、楽器演奏ではなく作曲等の分野で実技を希望する者は、自身が作曲した音楽作品(5分程度)をCDに録音したもの、およびその楽譜を持参することで演奏審査に代えることができる。 実技審査と面接合わせて15分。
		小論文型	「活動報告書(芸文版)」*1 「小論文」*2	事前提出した小論文をもとに面接審査(15分)
	ビジュアル・アーツ	作品審査型	「活動報告書(芸文版)」*1	試験当日、自分の制作した作品一点(美術、デザイン、工芸、服飾、写真、マンガ、映像、アニメ等)を持参する。作品審査では、制作意図、制作にあたり調べたこと、技法的工夫などについて3~5分のプレゼンテーションを行い、その後面接を行う。作品審査と面接合わせて15分。 なお、映像、アニメ作品等の収録時間は3分以内とし、再生用のPCは持ち込みとする。
小論文型		「活動報告書(芸文版)」*1 「小論文」*2	事前提出した小論文をもとに面接審査(15分)	
AO(地区)	演劇・ダンス 音楽 ビジュアル・アーツ	小論文型	「活動報告書(芸文版)」*1 「小論文」*2	事前提出した小論文をもとに面接審査(15分)
指定校				
留学生				
社会人				
編入*3	演劇、音楽 造形デザイン、映画			

※1 「活動報告書(芸文版)」は現在までの芸術に関する活動履歴を記載してください。

※2 「小論文」については、「芸術と社会」をテーマとして自分の考えを800字以内でまとめ、他の出願書類と一緒に提出してください。

※3 編入学者選抜は、※2の小論文に加え、試験日当日に「課題テーマ型の小論文」を課します。

[注意事項]

●志願者が一定の人数に達しない場合は、審査内容を一部変更する場合があります。変更する場合には事前に連絡します。

●面接は受験者1人、面接担当者2人で実施します。ただし、演劇・ダンス専修の「実技型」におけるグループ面接は受験者複数、面接担当者2人で実施します。

●一般入学者選抜・センター試験利用入学者選抜は筆記試験のみとなります。

●一般入学者選抜・センター試験利用入学者選抜は、第2志望の専修まで出願可能です。



グローバル・コミュニケーション学群の 面接方法について

GC学群では、語学力を測るため、複数の言語による面接試験を行います。使用する言語は以下を確認してください。

面接は受験者1人、面接担当者2人で実施します。時間は20分です。

面接では、志望動機を中心に、出願書類の内容のほか、絵や写真を見て答える質問も行います。

「AO入学者選抜」「推薦入学者選抜」では、課題図書の内容についても、選んだ本が書かれている言語で質問をします。

○:面接で必ず使用する言語 △:面接で必要に応じて使用する言語

母語 ※1	入学後、学修を希望する主たる言語	面接で使用する言語			
		日本語	英語	中国語	備考
日本語	日本語	—	—	—	母語は学修を希望する言語として選ぶことはできません。
	英語	○	○	—	
	中国語	○	—	○	中国語未習者の場合は、中国語による面接は免除します。
英語	日本語	○	○	—	
	英語	—	—	—	母語は学修を希望する言語として選ぶことはできません。
	中国語	—	○	○	中国語未習者の場合は、中国語による面接は免除します。
中国語	日本語	○	△	—	日本語のほか、必要に応じて英語でも面接を行います。
	英語	△	○	—	英語のほか、必要に応じて日本語でも面接を行います。
	中国語	—	—	—	母語は学修を希望する言語として選ぶことはできません。
上記以外の言語	日本語	○	△	—	日本語のほか、必要に応じて英語でも面接を行います。
	英語	△	○	—	英語のほか、必要に応じて日本語でも面接を行います。
	中国語	△	△	○	中国語のほか、必要に応じて日本語、英語でも面接を行います。 中国語未習者の場合は、中国語による面接は免除します。

※1 「母語」とは、教科学習に最も取り組みやすい言語を指します。

[注意事項]

●面接で使用する言語は、上記の表に基づきますが、日本語が母語でない場合は、入学後に学修を希望する主たる言語のほか、必要に応じて日・英・中のうち一つか二つの言語でも面接を行うことがあります。